

上部消化管内視鏡検査に関する説明書

自衛隊那覇病院

I D. 氏名

【検査前日および当日の注意事項】

□ **検査前日** 月 日 の食事は夜9時まで済ませてください。

この時間以降は検査が終わるまで、何も食べないでください。

水分（水、お茶のみ）は検査時間の2時間前まではお飲み頂いてかまいません。

上部消化管内視鏡検査を実施するにあたり、以下の項目をお読みになった後、説明にご納得いただけましたら、同意書にご署名をお願いします。

1 上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の目的・方法について

- (1) のどの麻酔をし、カメラを挿入して食道、胃、十二指腸の粘膜を観察します。この検査では、食道癌、胃癌、胃炎、胃ポリープなどの病変を観察することができます。検査時間は10～15分程度です。
- (2) 入れ歯のある方は、外しておいてください。（部分入れ歯を含む）
- (3) 胃の動きを抑えるため、検査前に注射をします。副作用として、尿が出づらい、動悸、散瞳（光が眩しい）などが起こることがあります。
- (4) 検査中に胃の粘膜を採取し、顕微鏡の検査（生検）を行うことがあります。またピロリ菌感染が疑われる場合には、胃の粘膜を採取し、ピロリ菌検査を行うことがあります。
- (5) できるだけ苦痛なく検査を受けることをご希望の方には、静脈注射による麻酔（鎮静剤）を使用することができます。鎮静剤の使用には以下の危険と制限があります。

- 薬の作用により眠気・ふらつき・物忘れ・呼吸抑制（息がしづらい）・血圧低下などが現れることがあります。
- 鎮静剤使用中に緊急の処置が必要になった場合は、適切に検査・処置を実施します。
- 検査終了後、鎮静から醒めるまでの間はベッド上で安静（約2時間）が必要です。
- 当日は自動車・バイク・自転車は禁止です。

2 上部消化管内視鏡検査の偶発症について

ごく稀に偶発症が発生する可能性があります。偶発症の中で重要なものは(1)出血(2)穿孔(3)ショックです。これら万一の事態に備えて、当院では適切に対処できるよう、万全の準備態勢を整えております。

他、顎関節脱臼、歯の損傷、鼻出血などの偶発症を生じることがあります。

3 偶発症の危険性が高い方について【下記に該当される方は、必ず担当医または看護師にお申し出ください。】

- (1) 心臓・血管の病気や脳梗塞などで抗凝固剤や抗血小板薬を服用している方
- (2) 緑内障（眼圧が高い）・心臓病・前立腺肥大症の方
- (3) 薬（局所麻酔薬のキシロカインおよびその他の薬）・卵・大豆アレルギーがある方
- (4) 妊娠およびその可能性がある方

※念のため、タオルを1枚ご持参ください。